

福島県図書教材教育機器部技術係長 菊田 恒 芳
 福島県教育センター経営研究部 植田 守
 〃 林 功
 福島県教育庁社会教育課員

(4) 研修内容

① 講 義

- ア 教育の現代化と視聴覚教育の発展
- イ 視聴覚教育の発展
- ウ 社会教育の改善に果たす視聴覚教材の機能・役割
- エ 視聴覚教材の利用の原理的諸問題

② 講義と実習

- ア テレビカメラの構造とVTRの制作技法
- イ VTR機材の制作実習と発表
- ウ ワードプロセッサの構造と操作
- エ 16ミリ映写機の操作
- オ OHPの特性と操作・TPの制作

③ 研究協議

「視聴覚センター・ライブラリーの整備充実と機材利用について」

9 くらしに生かす放送利用研究集会

(1) 趣 旨

複雑に変化する社会の中で、人々は、自己の啓発や生活の向上をめざし、豊かな学習機会を求めている。このような状況に対応するため、社会教育における放送利用学習のあり方について研究をすすめ、生涯学習の推進に資する。

(2) 期日・会場・参加者数

集会場	期 日	会 場	参加者数
会 津	7月10日(水)	会津坂下町中央公民館	143名
浜 通 り	9月12日(木)	いわき市文化センター	116名
浜 通 り	11月12日(火)	西郷村文化センター	128名

(3) 参加対象

市町村の社会教育関係者、PTA、学級講座・自主学习グループの学習者、放送利用学習に関心のある者

(4) 講師・指導者・助言者

① 講 師

- 会津集会 山形大学教育学部助教授 佐多 不二男
- 浜通り集会 全国視聴覚教育連盟事務局長 関口 勇
- 中通り集会 日本放送協会文化調査研究所 牧田 徹雄

② 指 導 者

- 会津集会 会津坂下町教育委員会社会教育主事 馬場 純
- 中通り集会 西郷村教育委員会主査 仁平 かよ子

③ 助 言 者

開催市町村教育委員会社会教育担当者、福島県教育庁社会教育課員、同教育事務所員

(5) 内 容

① オリエンテーション

「各研究集会のねらいとすすめかたについて」

② 公開学習・研究協議・話し合いのひろば

「楽しく学ぶために放送番組をどうしたらよいか」について、放送利用研究委託学級による学習活動公開と公開学習をうけての研究協議と放送利用についての話し合い。

③ 講 演

「高度情報化社会の現状と生涯学習」「現代社会における情報の選び方と生かし方」「家族とテレビ——新しいテレビとのあい——」をテーマに講演。

10 東北地区視聴覚ライブラリー研究協議会・福島県視聴覚ライブラリー研究協議会

(1) 趣 旨

学校教育及び社会教育における視聴覚機器、教材の供給機関である視聴覚センター・ライブラリーの充実・振興を図るため、東北各県の関係者が、地域の視聴覚センター・ライブラリーの当面する諸問題について情報・経験の交流や研究協議を行う。

(2) 期日・会場・参加者

- ① 期 日 昭和60年9月18日(水)～19日(木)
- ② 会 場 会津若松市文化福祉センター
- ③ 参 加 者 県・市町村教育委員会社会教育関係、県・市町村の視聴覚ライブラリー職員、公民館職員、幼・小・中・高等学校教職員

(3) 講師・助言者・発表者

- ① 講 師 福島大学教育学部教授 島田 啓二
- ② 助 言 者 文部省社会教育局学習情報課教育メディア調査官 橋本 幹夫
文部省社会教育局学習情報課普及係長 尾熊 克己
文部省社会教育審議会専門委員 関口 勇
〃 江藤 啓一
日本視聴覚教育協会事務局長 望月 武夫
岩手県社会教育課社会教育主事 小田島 健雄
山形県社会教育課社会教育主事 金沢 和子
青森県社会教育課社会教育主事 橘 兼則
- ③ 発 表 者 青森県弘前市中央公民館 戸澤 悟
秋田県秋田市教育委員会 二木 正行
岩手県東磐井地域教育事務協議会 尾形 秀治
宮城県大崎地域広域行政事務組合 松本 豊
山形県西置賜教育事務所 加藤 芳秀
〃 東南村山教育事務所 佐藤 豊
福島県南会津地方広域町村圏組合教育委員会 舟木 隆
〃 郡山市視聴覚センター 菊地 喜久康
〃 双葉町教育委員会 池田 満吉

(4) 内 容

① 研究協議会テーマ